

令和6年度

自己評価報告書

令和7年2月14日

鹿児島天文館メディカルカレッジ

1. 教育理念、目的

教育理念	鹿児島天文館メディカルカレッジでは将来医療従事者となる人材を育成するために「愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」すなわち「愛・信・敬」に基づく教育を実践している。 (1)常に本校の学生として正しい礼儀・言動を努める (2)来訪者、教職員に常に挨拶をするように心がける (3)授業の始まりと終わりは起立して先生に挨拶する (4)学内外で学生としての品位を保ちつつ、社会に役立つ技術を習得し、信頼される社会人としての人格を備えた人材を育成する
目的	鹿児島天文館メディカルカレッジは学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、医療分野で広く社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

2. 学校の現況

今年度は臨床検査学科が開設し2学科体制となった。学生数も増え多種多様な学生が活発に学校生活を送っている。学校としても新入生歓迎会やスポーツ大会などの学校行事を行い、学科を越えた学生交流を通して充実した毎日が送れるように力を入れている。また、広報活動においては、CMや広告、オープンキャンパスなどを通して積極的に外部に働きかけ、多くの方々に認知いただけるように努力している。
--

3. 令和5年度の目標と計画

目標	(重点目標) ①目標資格合格 ②就職内定率の向上 ③退学者、留年者の減少、挨拶の徹底 ④定員充足、新学科周知 ⑤学校行事の開催、ボランティアへの取り組み
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) ①・国家試験合格率100%(卒業延期者を極力減らす) ・第2種ME技術実力検定合格率 3年生100%、2年生80%以上 ・学生への授業評価アンケートを基にした理解しやすい授業への改善 ・定期的な会議での学生状況の共有や学習指導の検討 ・各学年の担任を中心とした個別面談の実施による意識付け ・第2種ME技術実力検定試験対策講座の実施 ・国家試験対策講座の実施 ②就職内定率100% ・担任を中心に教職員が連携をとった就職相談、面接指導、書類指導の実施 ・遅滞のない求人情報の提供 ・新規求人票の獲得に向けた病院や企業等との連携の強化 ・学生向け病院説明会や企業説明会等のイベントの掲示 ③・退学者数5%未満 ・留年者数5%未満 ・挨拶の徹底 ・個別面談やクラス日誌、日々の学生とのコミュニケーションからの学生状況の把握 ・学科会や職員会議を通じた教職員全体での情報共有と対策・指導 ・講義前に各クラスごとのホームルームを実施し、出席状況の把握 ・出席状況の悪い学生との二者面談及び保証人への連絡と三者面談の実施 ・登校時、教員による挨拶運動の実施 ・学生の来訪者・教職員への挨拶の徹底 ④・定員確保(臨床工学学科40名、臨床検査学科40名) ・新学科周知活動 ・学校・職業の認識度向上 ・高校訪問による学校連携と信頼関係構築 ・来校型事業の実施、改善(オープンキャンパス、体験入学、見学会) ・訪問型事業の実施、改善(学校説明会、職業説明会、体験授業) ・インターネット媒体の拡充(ホームページ、動画、SNS等) ・広報業者の活用 ⑤・新入生歓迎会やスポーツ大会等の学内行事の実施 ・学外でのボランティア活動の推奨 ・鹿児島県臨床工学技士会および臨床検査技師会主催の学会への参加 ・病院及び企業見学会の実施 ・学生実行委員による学生が主体となった学内行事の運営 ・がん患者チャリティイベントボランティアへの案内及び参加 ・赤い羽根共同募金街頭活動への案内及び参加 ・学校玄関での赤い羽根募金活動の実施 ・第19回九州・沖縄臨床工学会への参加と運営補助 ・第58回日臨技九州支部医学検査学会への参加と運営補助 ・鹿児島県内の企業による説明会およびラボツアーの実施

目 次

- ①教育理念・目的・人材育成像
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学習支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生募集と受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献
- ⑪総括

* 本評価書における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 5：最良 | 非常に適切な対応をしている |
| 4：適切 | 適切な対応をしている |
| 3： ほぼ適切 | 適切に対応しているが課題もあり、改善の取り組みが期待される |
| 2：やや不適切 | やや対応が不十分であり、課題の抽出と改善に取り組んでいく必要がある |
| 1： 不適切 | 対応が全くできていない |
| NA： | 該当なしまたは未実施 |

①教育理念・目的・人材育成像

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	開校時に定めた教育理念をホームページや広報媒体を通して学校外へ広く公表し、学生、保護者に対してはオリエンテーションや	
	ホームルーム等を通して周知している。理念に基づいた人材育成を行うために、当校教職員だけでなく姉妹校とも協力して、	
	挨拶の徹底、報告・連絡・相談の徹底、医療従事者に必要な接遇研修の実施等を行った。少しずつではあるが学生の意識が変化し	
	てきており、社会人としての自覚を持った行動ができるようになってきているので、これを全学生に普及していく必要がある。	
取組状況 と その分析	ホームページや広報媒体を利用した教育理念の学校外への公表している。また学生や保護者に対してはオリエンテーションや	
	ホームルームで周知している。教育理念を体現できるように、今年度から挨拶やコミュニケーション、マナーに関する指導を	
	強化し、姉妹校の教員による医療従事者に必要な接遇に関する研修も実施した。これにより学生全体の行動に規律が生まれ一定	
	の効果があったと考えれる。特に臨床実習を控えた学生に効果があった。	
今後の 改善 方策等	まだ、すべての学生が教育理念を正しく理解しそれを体現できるようにはなっていないので、今後も継続的な対応が必要である。	
	学生は直接的な指導や研修会の直後はその効果が行動に現れているが、時間が経つにつれて忘れていってしまうので、定期的な	
	指導や研修会の実施が必要である。	

1-1	教育理念・目的・育成人材像(以下「教育理念等」)は、定められていますか	
1-1-a	● 教育理念等はそれぞれ定められていますか	5
1-1-b	● 教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	4
1-1-c	● 学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	4
1-1-d	● 教育理念等を学校外に広く公表していますか	4
実施状況	開校時から教育理念を定めホームページで公表している。また、理事長訓示や職員会議、学科会議を通してその理念を教職員間で	
	共有している。	
確認資料	ホームページ、会議議事録	
1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	
1-2-a	● 中期的(3～5年程度)な視点で、学校の将来構造を描いていますか	3
1-2-b	● 地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	4
実施状況	地域の病院や企業等と情報交換し、業界ニーズに沿った人材育成ができる学校の構想を中期的な視点で立てられている。それを	
	会議や普段のコミュニケーションを通して教職員間で共有している。全教職員が中期的な視点で構想を考えられるとより良くなる。	
確認資料		

②学校運営

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	教育理念に基づいた学校運営方針を定めて学校運営を行っている。学生の生活状況や学校への要望を情報収集し、それを精査して	
	学校運営に反映させている。また、今年度より2学科体制となり教員組織を再編成することで各学科の特徴を活かしつつ、統一	
	された教育を行っている。	
取組状況 と その分析	学校ごとに立てた事業計画を法人本部がまとめ、理事会を経て運営方針が決定される。法人本部および姉妹校と適時協議し、	
	年2回の学生アンケートを踏まえながら方針の確認・修正をしている。そして、教職員の個別面談や職員会議を通じて運営方針の	
	周知徹底を行っている。	
今後の 改善 方策等	社会情勢や学生状況を正確に把握し、それに適合する運営方針を定めていく必要がある。	

2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	
2-1-a	● 運営方針は定められていますか	5
2-1-b	● 運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	4
2-1-c	● 運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	4
実施状況	運営方針は理事長訓示、職員会議、個別面談等で教職員全体に周知徹底している。	
確認資料		
2-2	事業計画を作成し、執行していますか	
2-2-a	● 事業計画を作成していますか	5
2-2-b	● 事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	5
実施状況	年間の事業計画を立て、それに基づいて学校運営を行っている。職員会議や学科会議で事業計画の進捗状況を適時確認している。	
確認資料		
2-3	組織運営は適切に行われていますか	
2-3-a	● 寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規定等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されていますか	5
2-3-b	● 意思決定に至る手順・ルートは規定等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	4
実施状況	法人で定められている各種規定・規則に則って会議や意思決定が行われている。	
確認資料	各種規定および規則	
2-4	業務の効率化を図っていますか	
2-4-a	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか	4
実施状況	事務部では、学生や資料請求者などのデータをパソコン上で管理し、請求書やDMまたは各種書類などの発行業務を迅速に行えるように効率化している。教務部では、採点や成績の管理をシステム化し効率化している。	
確認資料		

③教育活動

評価	
総合評価	
4	
評価結果 (総括)	各学科ごとにカリキュラムや学習目標などを設定して教育活動を展開できた。また、学外から講師を招き自身のキャリアやその
	多様性について考える機会を提供した。成績評価や単位付与についても学則に準じて適正に行った。
	鹿児島県臨床工学技士会や鹿児島県臨床検査技師会とも協力体制を築き、鹿児島県の医療機関と連携した教育を展開できている。
	しかし、公共マナーに関する教育についてはまだ十分ではないので改善が必要である。
取組状況 と その分析	学習面に関する教育活動は学則を遵守しながら学生の状況に合わせた指導ができている。例えば、前期と後期に1回ずつある授業
	評価アンケートの結果を省みて、適切な教育を提供できるように各教員が努めた。また、臨床工学学科では鹿児島県臨床工学技士
	会の講師によるチーム医療概論、臨床検査学科では新日本科学で働く臨床検査技師による職業紹介を実施して学生に自身のキャリ
	アを考える機会を設けた。教員体制は法律に示されている必要教員数を満たしているので、両科共に各教員の個性を活かした指導
今後の 改善 方策等	が展開できている。地域の病院などとも連携をとれているので特に問題はない。
	学生に社会人としてのマナーを学んでもらうために、交通ルールや公共マナーに関する教育を導入すべきと考えている。入学前ガ
	イダンスや入学後の教育プログラムに組み込み、地域住民から認められるマナーを身に付けた学生を輩出できるようにしたい。

◎目標の設定等		
3-1	教育理念、人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	
3-1-a	● 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか	4
実施状況	臨床工学技士学校養成所指定規則および臨床検査技師学校養成所指定規則に則り、修業年限に対応した教育を展開している。また、	
	学生便覧やシラバスで教育目標や到達度を明確にしている。	

◎教育課程・教育方法・評価等		
3-2	教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか	
3-2-a	● 教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか	5
3-2-b	● 教育課程(カリキュラム)は、事前に学生に開示されていますか	5
3-2- c	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか	3
実施状況	教育課程は学生便覧に明文化され全学生に配布している。また、ホームページ上で電子版のものを閲覧できるようにしてある。	
	e-Learnigシステム「Moodle」を導入して教育や評価を行っているが、まだ全教職員に浸透していないので改善が必要である。	
確認資料	学生便覧、ホームページ、KTMC Moodle Site	
3-3	キャリア教育・職業教育(以下「キャリア教育等」)を実施していますか	
3-3-a	● キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」 (答申)(平成23年1月31日)の内容を参照していますか	4
3-3-b	● キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか	4
実施状況	臨床工学学科では鹿児島県臨床工学技士会の講師によるチーム医療概論で様々な病院のチーム医療について学び、臨床検査学科	
	では新日本科学で働く臨床検査技師を招いて企業で働く臨床検査技師についてキャリア教育を行った。	
確認資料		

3-4	授業改善のための取り組みが行われていますか	
3-4-a	● 学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、 また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	3
3-4-b	● 評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	5
実施状況	授業評価アンケートは前期と後期に各1回ずつ実施している。アンケート集計後、各教員にフィードバックして授業の改善に役立てている。卒業時の満足度評価については現在できていない。	
確認資料		
◎成績評価・単位認定等		
3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定(以下「成績評価等」)の基準は明確になっていますか	
3-5-a	● 成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	5
3-5-b	● 成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	5
実施状況	成績評価の基準は学則や細則に定められており、その内容は学生便覧およびシラバスに記載してある。学生便覧とシラバスは入学時に学生に配布し、説明をしている。また、これらはホームページで公開している。	
確認資料	学生便覧、シラバス、ホームページ	
3-6	成績評価等を適正に行っていますか	
3-6-a	● 判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	5
実施状況	成績評価等においては学則に定められた判定基準に従い判定会議で適切に判定している。	
確認資料	学生便覧、シラバス、成績報告書	
◎資格免許の指導体制		
3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	
3-7-a	● 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	5
3-7-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	5
実施状況	両学科とも学生が国家試験に合格できるようなカリキュラムやシラバスが組まれている。これらは、入学前ガイダンスで配布して説明をしている。また、これらはホームページで公開している。	
確認資料	学生便覧、シラバス	
3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	
3-8-a	● 資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況	臨床工学学科では国家試験と第2種ME実力検定に合格するための指導体制を構築している。姉妹校と連携して模擬試験を作成し、その成績から学習の進捗状況を確認して指導体制を変化させている。臨床検査学科は2年次に心電図検定を受験予定なので、その対策講座を設置する予定である。全体としては、Moodleを導入して学生端末で小テストの受験や講義動画の視聴ができるようにする。	
確認資料		

◎教員・教員組織		
3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	
3-9-a	● 教員数は関係法令等を満たしていますか	5
3-9-b	● 現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	5
実施状況	両科ともに養成所指定規則に則って教員を採用し、現状では必要教員数を満たしている。	
確認資料		
3-10	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	
3-10-a	● 鹿児島県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	5
3-10-b	● 校内研修(O J T)を行っていますか	5
3-10-c	● 企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか	5
実施状況	教員の資質向上のために、今年度から鹿児島県専修学校協会主催の研修会に参加した。また、各領域における教育学会にも積極的に参加している。新任教員はOJTを通して講義・実習の進め方やオープンキャンパス対応を学んでいる。	
確認資料		
◎地域に根ざした教育		
3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	
3-11-a	● 鹿児島県内の人材を活用して、授業を行っていますか	5
3-11-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	5
3-11-c	● 鹿児島県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	5
3-11-d	● 県内のほかの専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	2
実施状況	教職員のほとんどが県内出身者である。臨床工学学科は臨床実習を県内の病院で実施しており、臨床検査学科は2年後から始まる臨地実習を県内の病院又は企業で実施する予定である。また、インターンシップ情報が入手できた場合はすぐに情報を開示している。今年度から専修学校協会の研修会に参加するようになり他校との交流も少し始まったが、まだ協力とまではいかない。	
確認資料		
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	
3-12-a	● 学生が鹿児島県や各市・町の自然、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	NA
3-12-b	● 交通安全教育を行っていますか	2
3-12-c	● 公共のマナーについて、教育・指導していますか	2
実施状況	交通安全教室や公共マナーについては教職員がその都度教育・指導しているがまだ不十分である。公的機関に協力いただきながら学生に浸透する教育・指導を目指す必要がある。	
確認資料		

④学修成果

評価		
		総合評価
		3
評価結果 (総括)	臨床工学学科の学生が受験した第2種ME実力検定試験合格率は、3年生が50%、2年生が36%であった。目標値に届かなかったことを十分に振り返り、次年度の資格試験指導に活かす必要がある。また、3年生の国家試験については受験前のためまだ分からない	
	が全員合格に向けて対策を進めている。就職活動に関しては希望者36名中27名が内定している（就職率75%）。	
	臨床検査学科に関しては資格試験は受験していないが、学内の科目試験において19名中15名が全科目平均点80点以上であった。	
取組状況 と その分析	ME2種実力検定試験に関しては、3年生は臨床実習と並行して対策を実施し、2年生は前期終講試験終了後からチューター制度を取り入れた小グループ学習を始めたが目標値である3年生合格率100%、2年生合格率80%を達成できなかった。直前の対策だけでなく、1年生からの継続的な学習が必要であると考えられる。国家試験に関しては、成績上位相と中間相は順調に成績が伸びている	
	が、下位相の成績が伸び悩んでいるので個別指導を含む対策が必要だと考えられる。	
	就職活動は、今年度当初は求人数が少なく苦戦を予想していたが、少しずつ求人数が増えて内定を獲得できるようになった。今後	
	も継続的な指導を行っていく。	
今後の 改善 方策等	直前の対策で成績が伸びて合格できるのは基礎学力が身に付いている学生だけであるので、1年生の時からME2種および国家試験を意識した基礎学力を向上させる指導が必要である。全教員で話し合い、複数の対策を講じる必要がある。	
	就職に関しては、求人施設および求人数の増加が重要であるので県内外の病院や関連施設とのつながりを強化する必要がある。	

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	
4-1-a	● 国家試験合格率の目標設定をしていますか	5
4-1-b	● 取得率向上のための対策等を講じていますか	3
実施状況	第2種ME実力検定試験に向けて、3年生は合格率100%、2年生は合格率80%という目標を設定した。それを達成するために、前期	
	終講試験終了後から夏休み期間を使ってチューターによる小グループ学習、姉妹校と連携して作成した合同模擬試験の実施などの	
	対策を行った。また、2年生は新カリキュラムとなり、その中でME2種の工学系分野を学ぶ工学演習の科目で学習を行った。これ	
	らの対策を講じて目標達成を目指したが達成はできなかった（3年生合格率50%、2年生合格率36%）。	
確認資料		
4-2	就職率の向上が図られていますか	
4-2-a	● 学生に就職に対する目標を立てさせていますか	3
4-2-b	● 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	3
実施状況	入学時から定期的な個別面談を行い、就職に関する希望を調査した。また、それと共に学生自身にキャリアプランを考えるように	
	指導をして目標を明確化した。外部講師や卒業生の講話を通して就職に対する意識向上に努めた。	
	担任を中心に学生の就職活動状況を把握して教員間で共有し、適時、履歴書の添削や面接練習などを行った。	
確認資料		

⑤学習支援

評価	
総合評価	
3	
評価結果 (総括)	経済面や生活面などの支援を講じて少しずつではあるが学習しやすい環境が提供できていると思われる。学習面や学生生活面に關しては定期的、または適時の面談を通して各学生の特性に合わせた支援ができるようになっている。だが、毎年一定数の退学者が出てしまっているので、入学前と後での様々な面におけるギャップが生じないように適切に指導していく必要がある。
	取組状況と その分析
	中途退学対策として定期的な面談を実施して学生の学習面や生活面での状況を把握し、必要であれば保護者とも面談をして学生に必要な指導および支援を保護者と連携して行っている。担任が中心となって面談を行うが、その情報は全教職員で共有し、学校全体で学生支援に取り組むように努めている。 経済面や生活面の支援としては、日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローンだけでなく病院や企業の奨学金なども情報を提供するようになっている。また、地域の不動産会社と提携してアパート・マンションの紹介や仲介手数料の減額などにも取り組んでいる。
今後の改善 方策等	学生支援においては教員だけでは対応できない事案等も存在するので、臨床心理士などの専門家や公的な機関の協力体制を構築する必要がある。また、教職員の講習会への参加を促し、学生対応に必要な知識と技術を向上させることが重要である。

◎中途退学		
5-1	退学率の低減が図られていますか	
5-1-a	● 中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか	4
5-1-b	● 中途退学防止のための対策を講じていますか	4
実施状況	各学科学年の担任を中心に全学生に対して半期に1回の面談や法人全体で行う半期に1回の学校生活アンケートを実施して、	
	学生の学習環境や学習状況、それに対する悩みなどを把握するように努めている。また、学生相談窓口を設置し、個別の学生支援	
	も行えるように体制を整えている。これらの学生に関する情報は教職員全体で共有して学生対応にあたっている。	
確認資料		
◎就職等進路		
5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	
5-2-a	● 就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はありますか	3
5-2-b	● 就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか	4
5-2-c	● より高度な学習・研究ができるよう大学等との併習または接続が可能な体制等を取っていますか	3
実施状況	就職担当部門は設置していないが、全教職員で就職進路相談にあたっている。基本的には最終学年の担任を中心に就職に関する相	
	談を受け付けて、その内容に合わせて適切な教職員が対応している。具体的な大学との併習や接続体制は現状は取っていないが、	
	進学を希望する学生に対しては、面談をしながら希望に合致する学校の紹介を行っている。	
確認資料		
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	
5-3-a	● 企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか	5
5-3-b	● 就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか	4
5-3-c	● 履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか	4
実施状況	学校に届いた求人票はすべて学生に開示し、閲覧できるようにしている。病院や企業からの就職説明会や就職相談会の情報も	
	ホームルームや掲示板等で周知している。学校での大掛かりな就職説明会は開催していないが、病院や企業と連携して個別の相談	
	会を実施している。	
確認資料		

◎学生相談		
5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	
5-4-a	● 入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別相談・ヒアリングを行っていますか	4
5-4-b	● 学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応する体制がありますか	4
実施状況	各学年クラスの担任を中心に半期に1回学生面談を行っている。学生からの要望や教員から見て学生に気になる点があった場合は、適時面談を実施している。また、学内の学生相談窓口や学外の相談窓口の紹介もしている。	
確認資料		
5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	
5-5-a	● いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	3
5-5-b	● いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	3
実施状況	各教職員が講義中や休み時間、放課後等で学生の様子を観察して異変を察知するように心がけている。また、そのような兆候があった場合には、教職員全体で情報共有し対応できるようにしている。だが、専門的に対応する部署は設置できていない。	
確認資料		
◎学生生活		
5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	
5-6-a	● 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	5
5-6-b	● 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	4
実施状況	日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローンなどの支援制度の紹介を入学前後で行っている。また、病院や企業が設けている奨学金制度についても紹介している。学費については入学試験時の選考区分による減免や離島支援、近隣県進学支援などの制度がある。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	
5-7-a	● 学生に対し、定期健康診断を実施していますか	4
5-7-b	● 有所見者の再検診について適切に対応していますか	4
実施状況	学生の定期健康診断を年に1回実施している。有所見者については再検診を行うように指導している。また、臨地実習に向けた抗体価の確認等も行っている。将来的には健康を管理する部署の設置が望まれる。	
確認資料		
5-8	生活環境支援体制を整備していますか	
5-8-a	● 遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	4
実施状況	寮の整備はしていないが、不動産会社と提携してアパート・やマンションの紹介を行っている。また、学生の負担する費用を抑えるために仲介手数料の減額等を行っている。	
確認資料		

◎保護者		
5-9	保護者・保証人(以下「保護者等」)との連携を図っていますか	
5-9-a	● 保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていますか	3
5-9-b	● 成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	5
5-9-c	● 緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	5
実施状況	緊急時や学習状況に問題があった場合には、直ぐに保護者等と連絡が取れるように連絡先が記載された学籍カードを整備している。	
	成績や出席状況、問題行動があった場合には、保護者等を含めた面談を実施している。現状では、保護者等に学校の状況を伝える	
	のは面談時のみになっているので、学校の状況を説明する機会や相談に乗る機会を作る必要がある。	
確認資料		
◎卒業生・社会人		
5-10	卒業生の動向を把握していますか	
5-10-a	● 年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	3
5-10-b	● 卒業年度だけではなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	2
実施状況	卒業時に卒業後の連絡先等を調査・集計しているが、卒業年度以降については追跡調査はしていない。卒業生が来校した際や病院	
	や企業訪問先に卒業生がいた際に個別で報告等を受けている。	
確認資料		
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	
5-11-a	● 資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	4
5-11-b	● 再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	4
実施状況	聴講生制度を導入し、国家試験に不合格となった卒業生が在校生と同様の教育・支援を受けれる体制を整えている。また、卒業後	
	の再就職やキャリアアップなどの相談には個別で対応している。	
確認資料		
5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	
5-12-a	● 大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	3
実施状況	学生便覧に既修得単位に関する取扱いを記載している。	
確認資料	学生便覧	

⑥教育環境

評価		
		総合評価
		5
評価結果 (総括)	教育上必要な施設・設備・機器に関しては関係法令に則って整備されている。また、防災・安全管理に関する対策も問題なくできている。	
取組状況 と その分析	今年度から開設された臨床検査学科に必要な設備・備品の整備を行った。	
	臨床工学学科2年生は新カリキュラムに沿った教育を実施しており、その中で臨床実習に関する部分が前カリキュラムと大きく変更されているのでその対応を行った。	
今後の 改善 方策等	関係法令等で規定されている最低限必要な設備や機器だけでは十分な教育が難しいので、教職員や学生の意見を取り入れながら設備や機器を充実させていく必要がある。	

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	
6-1-a	● 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	5
6-1-b	● 施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	5
実施状況	臨床工学技士養成所指定規則および臨床検査技師養成所指定規則に則って、教育上必要な施設・設備・機器は十分に設置・配置されている。また、定期的に点検等を行い学校運営に支障が出ないようにしている。	
確認資料		
6-2	校外の実習、海外研修等(以下「校外実習等」)について、十分な教育体制を整備していますか	
6-2-a	● 校外実習等は、教育課程の中に組込まれていますか	5
6-2-b	● 校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	4
6-2-c	● 校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	4
実施状況	校外実習に該当する臨床実習や臨地実習は教育課程の中に組み込み、教育施設協議会の指導要領に則って実施要領やマニュアル等を整備して学生等に周知している。また成績評価に関しても指導要領に則って基準を決定している。	
確認資料		
6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	
6-3-a	● 防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出していますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	5
6-3-b	● 施設・設備の耐震化を図っていますか	5
実施状況	関係省庁に適切に届出を行っている。施設や設備に関しても耐震基準を満たしている。	
確認資料		
6-4	防災訓練等を実施していますか	
6-4-a	● 学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	5
実施状況	年に1回、火災を想定した防災訓練を行っている。また、各学科学年の担任から避難経路や避難時の注意点などを指導している。	
確認資料		

⑦学生募集と受入れ

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	今年度は校名変更を行ったため、学校名での知名度はほとんどない状態から始まったが、臨床検査学科の開設によりガイダンスやオープンキャンパスの参加人数は昨年度よりも増えている。昨年度から隣県に対してもガイダンスや高校訪問でアプローチを行っている。鹿児島県内での学校の知名度は高まっていることが感じられるが、隣県での知名度はまだまだ低く、周知不足な状態である。	
	充足率としては、現状臨床工学学科は83%、臨床検査学科は98%となった。(2/14日現在)	
	2学科での充足率の差が開かないよう、広報活動を再度見直していく。	
取組状況 と その分析	パンフレットの新規作成、オープンキャンパスのチラシ作成、SNSの活用、店舗へのチラシ掲示、ガイダンスへの参加、高校訪問、出張オープンキャンパス、体験入学の内容変更、広報媒体への掲載など	
今後の 改善 方策等	広報媒体を活用し、ガイダンスの対応数を増やしていく。	
	また、SNSを活用し、まずは広く周知をしていく。	
	さらに、熊本県・宮崎県・沖縄県のガイダンス等にも参加し、隣県からの入学者数も増えるようアプローチを行う。	

7-1	学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	
7-1-a	● 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	4
7-1-b	● 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	5
7-1-c	● 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	4
7-1-d	● 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	5
実施状況	高校への訪問に加え、地方の学生も気軽に説明が聞けるように地方での説明会、チラシ配りを行っている。	
	また、県内の店舗へのチラシ掲載を行い、広い地域で目につくようにしている。	
確認資料	学校案内、学校ホームページ、募集要項、高校訪問報告書	
7-2	授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	
7-2-a	● 入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	4
7-2-b	● 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応していますか	5
実施状況	入学金、授業料、教材費など大きなものについては金額の明示を行っている。その他の費用については、全員に対して明細発行はしていないが、個別に明細等が必要と相談を受けた場合に個別で明細を提示している。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項、領収書	
7-3	社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	
7-3-a	● 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	5
7-3-b	● 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	5
実施状況	現役、社会人など関係なく同条件で募集を行っている。社会人の入学数は増加傾向にある。また、臨床工学学科については専門実践教育訓練給付制度の対象となっており、経済的支援を利用できる状態にしている。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項	

⑧財務

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	本法人の財政基盤は現時点、安定している。	
	学校法人会計により適正な会計処理が行われている。	
	今年度は臨床検査学科開設 1 年目に伴い、実際に授業を行う中で必要になった備品などの購入により、支出の割合が増えているが、	
	昨年度よりは収支と支出のバランスはとれている。	
取組状況 と その分析	法人、理事会、評議員会と複数によるチェック体制の下、予算編成を行い、会計監査は税理士によるチェック	
	監事による監査を行い、決算書は適正である。	
今後の 改善 方策等	少子化に伴い、専修学校への進学者数の減少が進む今後も、ハード面、ソフト面ともに教育の質を落とす事	
	なく、経費削減・節約に努めていく。	

8-1	学校及び設置者(法人)の収支、財政基盤は安定していますか	
8-1-a	● 出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	5
8-1-b	● 収支と支出のバランスが取れていますか	5
8-1-c	● 設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	4
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。	
確認資料	財務書類、決算書	
8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	
8-2-a	● 予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	4
8-2-b	● 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	4
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。	
	また、財務部から各部署への報告等を密に行っている。	
確認資料	予算書、財務書類	
8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	
8-3-a	● 会計監査体制のルールが明確化されていますか	5
8-3-b	● 会計監査の結果報告が文書化されていますか	5
8-3-c	● 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいますか	3
実施状況	公開希望者には事務室にて公開は行っているが、インターネット等による公表は積極的に取り組んでいるとは言えない。	
確認資料	決算書、寄附行為	

⑨法令等の遵守

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	関係法令や規則を遵守し、適切な運営ができています。申請内容の変更等が発生した場合には遅滞なく届出を行っている。	
取組状況 と その分析	法人全体で就業規則や各種規則などを規定して、その内容の周知徹底を行っている。微細な変更があった場合でも逐次連絡をするようにしている。	
	今後は各教職員が関係法令や規則についてこれまで以上に理解し、法令を遵守する姿勢を続けていく必要がある。	
今後の 改善 方策等	個人情報の取り扱いの重要性を各教職員が十分に理解し、その対策や対応を今後も継続的に続ける必要がある。	

9-1	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか	
9-1-a	● 監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	5
9-1-b	● 学校運営に必要な諸規定を整備し、それを適正に運用していますか	5
9-1-c	● セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行していますか	4
実施状況	関係法令および養成所指定規則に則って適切に運営している。また、法人の各種規定を適正に運用して、ハラスメント等の防止を行っている。	
確認資料	就業規定	
9-2	個人情報に関する規定を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	
9-2-a	● 個人情報の取扱いについて、規定・方針を策定していますか	4
9-2-b	● 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	4
9-2-c	● リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	4
実施状況	就業規定を順守し、各教職員が個人情報の取り扱いに十分注意を払って業務を行っている。また、システムやソフトウェアを活用して情報漏洩対策を講じている。	
確認資料	就業規定、ホームページ	

9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	
9-3-a	● 自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	4
9-3-b	● 実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	4
9-3-c	● 自己評価結果を報告書にまとめていますか	5
9-3-d	● 自己評価結果をホームページ等に掲載するなど公表していますか	5
実施状況	年度末に教務主任、学科長、事務課長を中心に自己評価を行い、その結果をホームページで公表している。	
確認資料		
9-4	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか	
9-4-a	● 学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	4
実施状況	学校のパンフレットやホームページ等で各種情報を公開しているが、個別の教職員情報は公開していない。	
確認資料	パンフレット、ホームページ	

⑩社会貢献・地域貢献

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	関連団体のイベントや地域で行われる行事等のボランティアについては積極的に参加するように指導をし、数名の学生は参加して	
	いた。大規模学会における運営ボランティアの依頼があった場合には可能な限り受託して関係する学科の教員と学生で対応した。	
	関係団体のイベントや学会は就職につながる重要な機会となるので今後も学生には積極的に参加をしてもらいたい。	
	中高生に対しても、学内学外の職業イベントやオープンキャンパス等を通じて職業意識が高まるように努めている。	
取組状況 と その分析	献血や赤い羽根共同募金のボランティアに取り組んだ。また、関係団体の学会運営の補助を教員と学生で行い、学会期間中に病院	
	や企業の関係者と情報交換ができた。	
	中高生に対するキャリア教育・職業教育は学校ガイダンスやオープンキャンパスなどで行っている。	
今後の 改善 方策等	関連企業等との共同事業や研究は実施できていないので、今後、多方面と関係を深めて検討していく必要がある。	
	ボランティアや中高生向けのキャリア教育などは今後も変わらず実施していくが、そこに携わる学生が増えるように今後も指導を	
	していく必要がある。	

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	
10-1-a	● 地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)等を積極的に受託 していますか	3
10-1-b	● 地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会を開催する際、学校施設・設備等を開放して いますか	4
実施状況	地域や関連業界が開催する公開講座等の中で学生教育に必要なものに関しては受託している。また、各種団体の研修会等	
	で当校の施設・設備の使用申請があれば対応する準備はできている。	
確認資料		
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	
10-2-a	● 学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
10-2-b	● 教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	3
実施状況	毎年、日本赤十字社の献血活動のボランティアを行っている。また、今年度は赤い羽根共同募金においても学生の学校玄関前での	
	募金ボランティアを実施した。教員は毎朝学生の登校時間中に挨拶運動を実施しているが、その際に近隣の清掃をしている教員も	
確認資料	いる。	

10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	
10-3-a	● 学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	5
10-3-b	● 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等(分野により研究・開発)を行っていますか	NA
実施状況	県や市、関係団体などからの行事案内等は掲示し、ホームルーム等で周知している。	
	関係団体や企業との共同研究や共同事業については行っていない。	
確認資料		
10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	
10-4-a	● 高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	5
実施状況	学外では会場型の学校説明会や高校説明会、高校訪問、学内ではオープンキャンパスや体験入学等を通して、中高生に対する職業意識の向上に努めている。	
確認資料		

⑪総括

評価		
		総合評価
		4
評価結果 (総括)	今年度から臨床検査学科が開設して2学科体制となったが、大きな混乱もなく問題なく運営できていた。また、前年度からの課題	
	についても少しずつ解決できていると思われる。教職員と学生が増えて新たな価値観と触れる機会が多くなったので、様々な意見	
	を取り入れてより良い学校を築いていくことが重要である。	
	これまで以上に学校運営、学生教育、学生募集などに教職員が積極的に取り組み、中長期計画を達成できるように努める。	
取組状況 と その分析	役職者を中心に自己評価を行い、学校運営における問題点を抽出した。学生募集については、CMや広報媒体を通じて広く周知でき	
	ていると思われる。令和7年度入試の結果ではまだ定員充足率は100%には届かないが、臨床工学学科で75%、臨床検査学科で	
	100%となっているので効果が表れていると思われる。学生対応においては、資格取得への対策は100%合格に向けて継続的に取り	
	組む必要がある。長期的な1年次からの指導が必要なのでその対策を全教職員で様々な面から検討する必要がある。	
今後の 改善 方策等	学生募集に関しては学校全体で充足率100%となるように、鹿児島県内だけでなく近隣県も含めて募集活動をしていく。	
	2学科体制になって様々なパーソナリティを持った学生が入学してきているので、教職員だけでなく公的機関や専門家と協力しな	
	がら、学生がストレスなく学業に励める環境を構築していく。	
	学習面に関しては、学内の講義や実習だけでは不足する部分をe-Learnigシステムを活用して、講義動画や配布資料、練習問題を提	
		供することで補完していく。また、綿密な面談を行い学習や生活のサポートを行う。

11-1	学校評価の実施について評価してください	
11-1-a	● 学校評価の目的(何のために学校評価をするか)が、全ての教職員に浸透していましたか	3
11-1-b	● 学校評価を積極的に実施できましたか(受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか)	3
11-1-c	● 評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	3
11-1-d	● 学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	3
11-1-e	● 評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	4
実施状況	現在は役職者を中心に実施しているが、自己評価の意義やその仕組みなどを教職員全体で理解し、誰もが関われるようになると	
	もっとよい自己評価ができる。	
確認資料		

4.自己評価結果(総括)

評価	3
----	---

目標達成状況	①目標資格合格 →国家試験合格率3/27以降に公開 →第2種ME技術実力検定合格率 3年生50%、2年36% ②就職内定率の向上 →就職希望者37名に対し27名内定(2/14時点) ③退学者、留年者の減少、挨拶の徹底 →退学率5%未満:退学率3.9%、退学者数4名(2/14時点) →留年率5%未満:留年率0.8%、留年者数1名(2/14時点) →教員による挨拶運動などの実施による挨拶の習慣付け ④定員充足・新学科周知 →臨床工学学科 33/40名(2/14時点) →臨床検査学科 39/40名(2/14時点) ⑤学校行事の開催・ボランティアへの取り組み →新入生歓迎会やスポーツ大会等の学内行事の実施 →献血ボランティアへの参加 →赤い羽根共同募金活動への参加 →職能団体主催の学会への参加および運営補助 →企業説明会およびラボツアーの実施
今後の課題・改善方策	臨床工学学科2、3年生が受験した第2種ME実力検定試験は目標とする合格率を達成できなかった。2年生には前期科目の工学演習や夏休み期間での教員による小グループ対策、3年生は臨床実習期間中であつたが、自己学習を中心に準備をした。合格率向上のためには、1年次から継続した学習と分野間の繋がりを意識した講義の展開が必要と考える。臨床工学学科3年生の国家試験に向けた対策として、学生を小グループに分けて教員がそれぞれのグループをローテーションしながら各分野の対策を実施している。また放課後の学校開放を行い、勉強場所を提供している。全体的に成績は向上しているが、数名の低迷者については個別の対応が必要である。 就職については、希望者の7割以上が内定しており、順調に行けば就職率100%を達成できる見込みである。県内の求人数が安定するように関係各所との連携が必要である。 学生指導については、挨拶運動だけでなく普段から礼儀・礼節を指導することで、少しずつ学生の意識が変わりつつある。今後も継続して指導していく必要がある。 退学率については、前年度と同程度となる見込みである。主に1年生の退学率が高く、その理由は進路変更や学習意欲の低下が多い。定期的な面談を通して学生の状況を把握し、適切な指導をしていくことが重要である。 学生募集については、広告やCM、テレビ番組への出演などによって認知が広がり、定員充足率100%に近づいている。今後も様々な広報媒体やSNS等を活用して学校をアピールしていく。 学校行事やボランティア活動については、学生の協力もあり、目標通りに進めることができた。次年度も同様に取り組んでいきたい。